

Netfinity Manager Plus for Tivoli ユーザーズ・ガイド

バージョン 1.0.1

Netfinity Manager Plus for Tivoli ユーザーズ・ガイド

著作権表示

The information and specifications in this document are subject to change without notice. Please consult your IBM representative for the latest edition or supplements that are applicable and current. This document is intended to present a clear and comprehensive guide to the use of the product it describes. IBM, however, makes no representation or warranty, express, implied, or statutory, with respect to, and assumes no responsibility for, the accuracy, completeness, sufficiency, or usefulness of the information contained herein.

以下は IBM の商標です。

IBM, IBM ロゴ, AIX, AS/400, および OS/2 は、International BusinessMachines Corp. の登録商標です。Netfinity マネージャー および Netfinity は IBM の商標です。

HPUX は Hewlett-Packard Company の登録商標です。

IT Masters, IT Masters ロゴ、およびその他すべての IT Masters 製品、サービス名およびロゴは、IT Masters, Inc の商標または登録商標です。

Solaris は Sun Microsystems Inc の登録商標です。

Tivoli Management Environment, Tivoli Management Platform, TivoliManagement Framework, Tivoli Application Service, Tivoli/ADE, Tivoli/Admin, Tivoli/AEF, Tivoli/Courier, Tivoli/EIF, Tivoli/Enterprise Console, Tivoli/FSM, Tivoli/Inventory, Tivoli/net.Commander, Tivoli/Plus, Tivoli/Print, Tivoli/Sentry, Tivoli/UserLink, Tivoli/Workload, および TME は Tivoli Systems Inc の商標です。

UNIX は X/Open Company の登録商標です。

Windows, Windows 95, および Windows NT は Microsoft Corporation の商標です。

その他すべての商標はそれぞれの所有者によって所有されています。

本書について

Netfinity Manager Plus for Tivoli ユーザーズ・ガイドは、Netfinity Manager Plus for Tivoli モジュールの使用に関する特定機能および手順を説明します。このモジュールは、IBM および IT Masters によって共同開発され、Netfinity マネージャー・バージョン 5.2 製品と TME 10 (Tivoli Management Environment 10) を統合します。

本書の対象読者

本書は、Netfinity マネージャー・モジュールを使用して Netfinity マネージャーの操作を管理するシステム管理者を対象としています。本書の読者は、TME10、Netfinity マネージャー、システム管理、およびネットワーク管理を十分理解していることが前提となります。

前提条件

TME 10 Framework および Tivoli/Plus ソフトウェアを十分理解していないと効果的に Netfinity Manager Plus モジュールを使用することはできません。以下のソースに含まれる情報を十分理解している必要があります。

- *Netfinity* マネージャー・クイックガイド
- *Netfinity* マネージャー管理者ガイド
- *Netfinity* マネージャー・コマンドライン・インターフェース・リファレンス

本書の手順を実行するためには、Tivoli 管理者特権を持っている必要があります。

本書に含まれる内容

Netfinity Manager Plus for Tivoli ユーザーズ・ガイドには以下の章が含まれます。

- 1 章、“Netfinity Manager Plus for Tivoli の理解”
Netfinity マネージャーおよび Netfinity Manager Plus ソフトウェアの概説
- 2 章、“インストール”
Plus モジュールのインストールに関する説明。
- 3 章、“ソフトウェア配布”
Netfinity マネージャーの構成とインストール方法を説明します。
- 4 章、“分散モニター”
ホストとサーバー・モニターの配布方法、それらを起動するものとそれらの応答を決定するプロパティの編集、そして状態の表示について説明します。
- 5 章、“TEC イベント”
TEC サーバーを構成して Netfinity マネージャーで作業を行う方法について説明し、TEC イベント、ルール、および自動処理をリストします。
- 6 章、“タスク操作”
Tivoli ジョブおよびタスクを使用して、Plus モジュールとともに提供されている自動管理タスクを実行する方法を説明します。
- 7 章、“トラブルシューティング”
生じる可能性のあるエラー状態をリストし、それらに対する対処方法を説明します。
- 8 章、“用語集”
関連 Netfinity マネージャーおよび Tivoli 関連の用語を定義します。

書体に関する規則

本書では、特殊な用語と処置に関しては特定の書体を使用しています。

太字 コマンド、キーワード、ファイル名、またはそのまま使用されなければならないその他の情報は太字で表現されています。ウィンドウ名、ダイアログ、およびその他の制御も太字で表現されます。

モノスペース コードの例はモノスペースフォントで表現されています。



本書には左側の余白にアイコンが表示されており、これはテキストの説明または手順中のステップの実施に関連するものです。たとえば、ある手順がタスク・アイコンのダブルクリックから開始される場合は、そのアイコンが最初のステップの左側の余白に表示されています。その手順の第4ステップが別のアイコンをオープンするようにユーザーに指示している場合は、そのアイコンが第4ステップの左側の余白に表示されています。

カスタマー・サポートへの問い合わせ

サポートに関しては、最寄りの IBM Technical Support オフィスにお問い合わせください。

北米

- 24-hour phone support: (800) 237-5511
Choose option 8, then option 2
- Web: <http://www.support.tivoli.com>
- Email: support@tivoli.com

北米以外

- 最寄りの電話サポートについては、以下にアクセスしてください。
<http://www.support.tivoli.com/info.html>
- Email: support@tivoli.com

目次

1	Netfinity Manager Plus for Tivoli の理解	
	Netfinity Manager Plus for Tivoli	1-2
	Netfinity Manager Plus デスクトップ.....	1-3
	Netfinity マネージャー・ソフトウェア	1-4
	計画に関する考慮事項	1-4
	プラットフォームとパスに関する考慮事項.....	1-4
	Netfinity Manager Plus for Tivoli ソフトウェアの追加.....	1-5
	インストールの概説	1-6
	Netfinity Manager Plus for Tivoli.....	1-6
	管理の概説	1-6
2	インストール	
	要件のチェック	2-2
	ソースの選択	2-3
	CD-ROM からのインストール.....	2-3
	ステー징・エリアからのインストール.....	2-3
	Plus モジュールの全管理ノードへのインストール.....	2-4
	Plus モジュール・デスクトップの立ち上げ	2-9
	プロファイル・マネージャーの構成.....	2-10

3 ソフトウェア配布

ソフトウェア配布の概説	3-2
配布の制御	3-2
要件のチェック	3-3
Netfinity マネージャーの配布	3-4
ファイル・パッケージの構成	3-4
ファイル・パッケージのインストール	3-5
インストール・プロセス	3-6
始動	3-6
Netfinity クライアント・サービスの配布	3-7
ファイル・パッケージの構成	3-7
ファイル・パッケージのインストール	3-9
始動	3-9

4 分散モニター

Netfinity マネージャー・モニター	4-2
デフォルト・プロパティ	4-2
モニターの配布	4-3
モニター特性の変更	4-4
ポーリング間隔	4-6
モニター状況の表示	4-6
ポップアップ	4-6
Tivoli 通知	4-6
TEC イベント	4-7

センター・インディケータ	4-8
モニター条件	4-10
要約	4-10
Netfinity Manager Host Monitors	4-12
Netfinity Manager Server Monitors	4-12
5 TEC イベント	
TEC サーバーの構成	5-2
Netfinity マネージャー・イベントの表示	5-3
イベントの表示	5-3
その他の TEC コンソールの構成	5-5
TEC イベントおよびルール	5-5
TEC イベント・リスト	5-6
TEC ルールの処置とリスト	5-7
6 タスク操作	
Netfinity Manager Plus タスク	6-2
Netfinity クライアントのリポート	6-2
Netfinity クライアントの遮断	6-3
Netfinity クライアントのウェイクアップ	6-4
ハードウェア・インベントリーのエクスポート	6-5
ソフトウェア・インベントリーのエクスポート	6-5
周期 Netfinity サービス	6-6
ジョブとタスクの概説	6-7

ジョブ.....	6-8
タスク.....	6-11

7 トラブルシューティング

問題の分析.....	7-2
冗長メッセージをオンにする.....	7-2
一般的な質問に対する答え.....	7-3

用語集

1

Netfinity Manager Plus for Tivoli の理解

Netfinity Manager Plus for Tivoli は、Netfinity マネージャー・ソフトウェアおよび Tivoli Management Environment (TME 10) を統合する Tivoli Plus です。Netfinity マネージャー・ソフトウェアは、管理者に対して構成管理に関する総合的デスクトップ・コントロールを提供します。

本章は以下について説明します。

- Netfinity Manager Plus for Tivoli の機能
- Netfinity マネージャー・ソフトウェア
- 計画に関する考慮事項
- インストールの概説
- 管理の概説

Netfinity Manager Plus for Tivoli

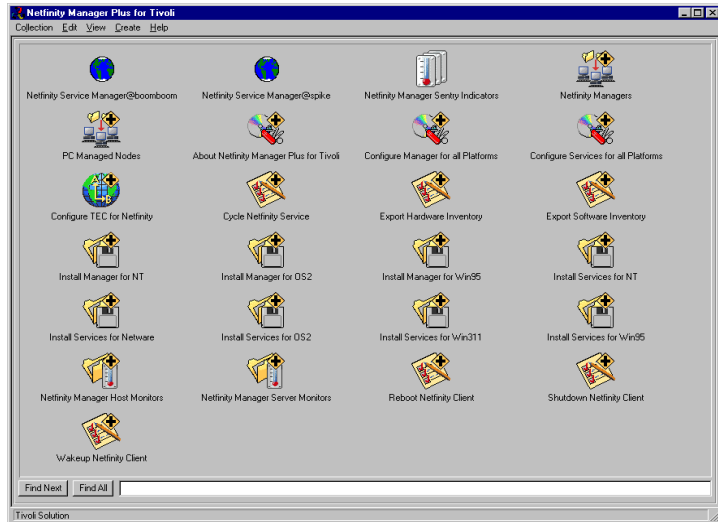
Netfinity Manager Plus for Tivoli は、Netfinity マネージャーの管理（マネージャー・パッケージまたはサービス・パッケージがインストールされている PC 上で）を Tivoli Management Environment に加える Tivoli Plus モジュールです。

Netfinity Manager Plus for Tivoli により、システム管理者は次のことを行うことができます。

- **デプロイ**：Plus モジュール（Netfinity マネージャー・ソフトウェアおよびサポートされるオペレーティング・システムに関する保守）を配布します。
- **モニター**：Tivoli Sentry または Tivoli Enterprise Console (TEC) を介して、Netfinity マネージャーの可用性および潜在的な問題に関するクライアント・サービスに従います。事前構成済みのルール・ベースが TEC のために提供されます。
- **管理**：新規クライアントを Netfinity マネージャーに組み込み、クライアント・マシンおよびサービスの停止 / 始動 / リブートを行い、ハードウェアおよびソフトウェアのインベントリー情報を入手します。

Netfinity Manager Plus デスクトップ

管理者は、Netfinity Manager Plus for Tivoli ウィンドウからの Netfinity Manager Plus で作業を行います。



デスクトップ上のアイコンは Tivoli の規則に従っています。



- プロファイル・マネージャー アイコンは、Netfinity マネージャー・マネージャーおよびクライアントのために提供されています。プロファイルは、タスクのための加入者リストとして使用することができます。



- 構成およびインストール アイコンは、ソフトウェア配布を行うために提供されています。



- タスク アイコンは、管理操作のために提供されています。タスクは加入者に基づいて作業を行います。



- モニター・コレクション アイコンは、分散モニターの設定と展開のために提供されています。
- インディケーターは、配布モニターの状態を表示するために提供されています。



- **TEC 構成アイコン**は、イベント・クラスおよびルール定義を TEC サーバーに組み込むために提供されています。

Netfinity マネージャー・ソフトウェア

Netfinity マネージャー・ソフトウェアは、ハードウェア・システム管理機能を提供し、これには Netfinity マネージャーまたは Netfinity クライアント・サービスを稼働しているネットワーク上の全システムに対するアクセスが含まれます。

ファイルとディレクトリーの両方向転送、リモート・スクリーンの取り込みとコマンドライン・セッション、スケジュール式/自動システム管理、モデムまたはインターネットによるリモート・システム管理、ならびに ODBC を介するデータのエクスポートの各サービスも実施します。

注： ODBC Database Export の場合は、タスクの実行元の Managed Node は、データベースがインストールされているマシン上に位置していなければなりません。

Netfinity マネージャー・ソフトウェアの詳細については、Netfinity マネージャー文書セットを参照してください。

計画に関する考慮事項

次のセクションは、Netfinity Manager Plus のインストール計画に関連する特殊の問題を説明します。

プラットフォームとパスに関する考慮事項

Plus モジュールは、マルチ・プラットフォーム Netfinity マネージャー・インストールの管理を可能とします。一部の制約事項が、Netfinity マネージャー・ソフトウェアのインストールと構成に適用されます。

Netfinity Manager Plus for Tivoli ソフトウェアの追加

Netfinity Manager Plus モジュールを追加した後、次の操作を TME デスクトップの Plus モジュールのウィンドウから実行することができます。

- **Install Netfinity Manager.** Plus モジュールは、Tivoli Software Distribution ソフトウェアのサービスを使用し、Netfinity マネージャーを Windows NT, Win95, または OS/2 クライアントにインストールします。
- **Install Netfinity Client Services for Netfinity Manager.** Plus モジュールは Tivoli Software Distribution ソフトウェアのサービスを使用し、Netfinity クライアント・サービスを NT, Win95, OS/2, Win3.11, または Netware クライアントのためにインストールします。
- **Monitor Netfinity Manager および Client Services.** Plus モジュールは、Tivoli Distributed Monitoring ソフトウェアを使用し、モニターされる資源をポーリングし、その状態を表示します。モニターが、Netfinity マネージャー・マネージャー・ホスト状態および Netfinity クライアント・サービスおよびドライバー・ファイルのために提供されています、
- **Configure the Tivoli Enterprise Console (TEC) to accept Netfinity Manager events.** 構成には、クラス、ルール、イベント・グループ、および2つのイベント・ソースの追加や更新が含まれます。Netfinity マネージャー・イベントのソースは、分散モニターまたは TEC SNMP アダプターで、これらは TEC イベントを送るために事前構成されています。
- **Manage Netfinity Manager hosts.** Netfinity マネージャーおよびクライアント・サービスの一括管理を可能とするプロファイル・マネージャーが提供されています。ジョブの実行を含む管理操作を実

施するためのタスクが、デスクトップ上に提供されています。

インストールの概説

本セクションは、Netfinity Manager Plus for Tivoli をインストールし、そのサービスのすべてをセットアップするために必要な手順を要約します。

Netfinity Manager Plus for Tivoli

1. Tivoli が稼働していることを確認します。
2. TME デスクトップから、Plus モジュールを TMR サーバー、TEC サーバー、および Netfinity マネージャーが稼働しているホストにインストールします。
3. TEC サーバーを構成します。Netfinity マネージャー・イベントにアクセスするためのイベント・コンソールを構成します。
4. 分散モニター（セントリー・モニター）のセットアップと配布を行います。

管理の概説

Netfinity マネージャー および Netfinity Manager Plus for Tivoli がインストールされると、Plus モジュール・ウィンドウからの管理およびモニター操作を、TME デスクトップ上で実行することができます。

- Netfinity マネージャーが認識しているクライアントの状況を表示します。
- Netfinity マネージャーを、新規 NT, OS/2, または Win95 クライアント上に配布し、インストールします。
- Netfinity マネージャー・クライアント・サービスを、NT, Win95, OS/2, Win3.11, Win3.1 拡張、および Netware クライアントのために配布し、インストールします。

- Netfinity マネージャー・マネージャーまたはクライアントのシャットダウンまたはリブートを行います。
- Netfinity クライアント・ハードウェアとソフトウェア・インベントリー情報をエクスポートします。
- Netfinity マネージャー・サービスを、個々のまたは NT Managed Node Netfinity Managers のグループ上で開始 / 停止 / 再始動を行います。
- Netfinity マネージャー・プロセス状況ならびにマネージャーおよびクライアント・ホスト状況を、Tivoli EnterpriseConsole からモニターします。

2

インストール

本章は、Netfinity Manager Plus for Tivoli のインストールについて概説します。以下のタスクが含まれます。

- 要件のチェック。
- Tivoli デスクトップを使用して、Plus モジュールを希望する Tivoli 管理ノードにインストールします。
- Plus モジュールを TME デスクトップから立ち上げます。

これらの手順は、Netfinity Manager Plus for Tivoli の展開における最初のステップです。

要件のチェック

システムは、以下の事前導入要件に合致している必要があります。

エリア	要件
Tivoli ソフトウェア	AIX バージョン 4.2x 以降 HPUX バージョン 9 または 10 以降 Solaris バージョン 2.5 以降 Windows NT 4.0 以降 TME Framework 3.1 (Solaris, HP, AIX) 以降 TME Framework 3.1.3 (Windows NT) 以降 TME 10 Software Distribution 3.1 TME 10 Distributed Monitoring 3.02 以降 Tivoli Enterprise Console (TEC) 2.6 または 3.1
Netfinity マネージャー・ソフトウェア	Netfinity マネージャー for Windows NT バージョン 5.2
ディスク・スペース	Plus モジュールは以下のディスク・スペースを必要とします。 バイナリー 1716 KB (TMR サーバー) バイナリー 1528 KB (クライアント) メッセージ・カタログ 113 KB リンク・ライブラリー 30KB を含む (これは初期 Plus モジュール・インストールにのみ関するものです。他の Plus モジュールが存在する場合は、これらのリンク・ライブラリーは Plus モジュール間で共有されます。)
特権	インストールを行うためには、完全特権 Tivoli 管理者名 (name@domain) を持っていなければなりません。 TME コンテキストのための install_product 、 senior 、 super 、および admin 役割が、モジュールをインストールするために必要です。

Plus モジュールは、以下のホスト上にインストールされなければなりません。

- Tivoli Management Region (TMR) サーバー・ホスト

- TEC サーバー・ホスト（TMR ホストと同一であることも可能ですが、通常は同一ではありません。）
- Netfinity マネージャー・ホスト — Windows NT Tivoli 管理ノードでなければなりません。

ソースの選択

Plus モジュールは、CD-ROM から直接、またはステージング・エリアからインストールすることができます。

CD-ROM からのインストール

Plus モジュールを CD-ROM から直接インストールする手順は次のとおりです。

1. CD-ROM を、システムを稼働しているホストからアクセス可能なドライブにマウントします。
2. 製品のインストール・ダイアログにおいてメディアを使用するときは、マウント・パスを使用します。

ステージング・エリアからのインストール

通常はソース・ステージング・エリアを TMR サーバー上にセットアップします。ステージング・エリアをセットアップする手順は次のとおりです。

1. インストール CD-ROM を、TMR サーバーからアクセス可能なドライブにマウントします。
2. ファイルのためのディレクトリーを作成します。
3. CD-ROM の内容をそのディレクトリーにコピーします。
4. 製品のインストール・ダイアログにおいてメディアを使用するときは、ディレクトリー・パスを使用します。

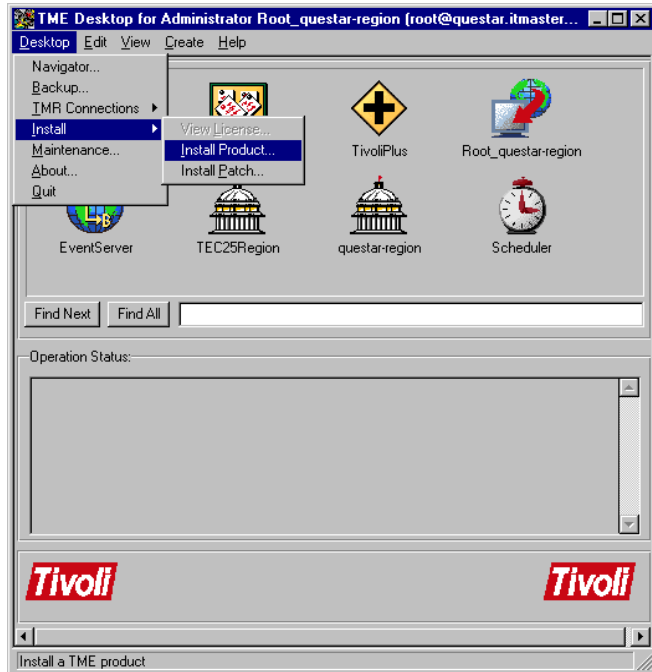
Plus モジュールの全管理ノードへのインストール

Plus モジュールを、希望する管理ノードのすべてに同時にインストールすることができます。TMR サーバー、TEC サーバー、および Netfinity マネージャー・ホストにインストールしなければなりません。以下の手順によって TME デスクトップから Plus モジュールをインストールします。

注： インストール・ウィンドウに **License Key** フィールドが含まれる場合には、無視してください。Tivoli/Plus モジュールはもはやインストールのためのライセンス・キーを必要としません。

1. **Tivoli データベースをバックアップします。** Plus モジュールのインストール中に問題が生じた場合は、データベースを復元する必要があるかもしれません。データベースのバックアップを作成せずに、作業を進めないでください。

2. インストールを開始します。:
デスクトップメニューから、インストールを選択し、サブメニューから製品のインストールを選択します。



製品のインストールウィンドウが表示されます。



Netfinity Manager Plus for Tivoli モジュールが、製品のインストールウィンドウ内のインストールする製品の選択リスト中にリストされている場合は、ステップ4に進んでください。リストされていない場合は、ステップ3に進んでください。

3. インストール・メディアを見つけます。
メディアの選択... を押し、ファイル・ブラウザーウィンドウを表示します。

メディアが含まれるパスを入力するか、表示します。

パスの入力

- a. パスをパス名フィールドに入力します。
- b. パスの設定を押します。
- c. メディアの設定 & クローズを押します。

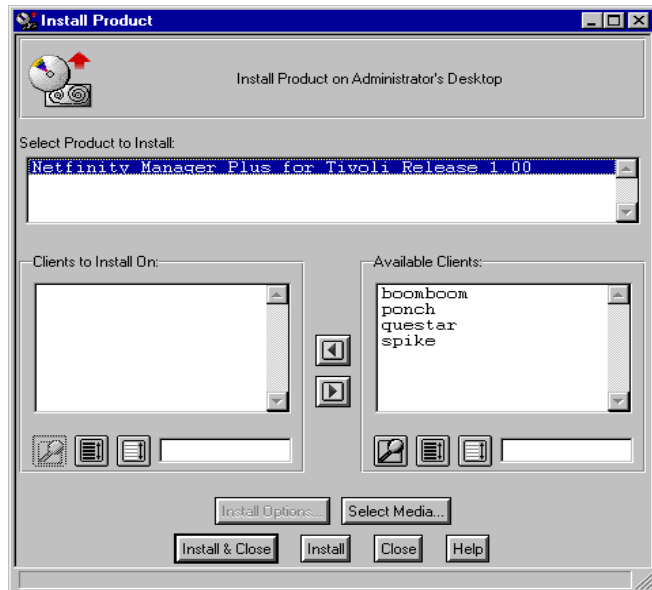
製品のインストールウィンドウが再び表示され、インストールのために使用可能な製品のリストが表示されます。

パスの表示

- a. ホスト リストから、インストール・メディアが取り付けられているホストを選択します。
- b. ディレクトリー リストから、インストール・メディアを含んでいるディレクトリーを選択します。
- c. メディアの**設定 & クローズ**を押します。

製品のインストールウィンドウが再び表示され、インストールのために使用可能な製品のリストが表示されます。

4. **インストールする製品を選択します。:**
Netfinity Manager Plus for Tivoli モジュールを、インストールする製品の選択 リストから選択します。



5. **インストール先を指定します。**
モジュールがインストールされる管理ノードを指定するには、左および右矢印キーをクリックし、**インストール先のクライアント リストと使用可能クライアント リストの間でマシン名を移動**します。

TMR サーバー、TEC サーバー、および Netfinity マネージャー・ホストを**インストール先のクライアント リストに移動**します。

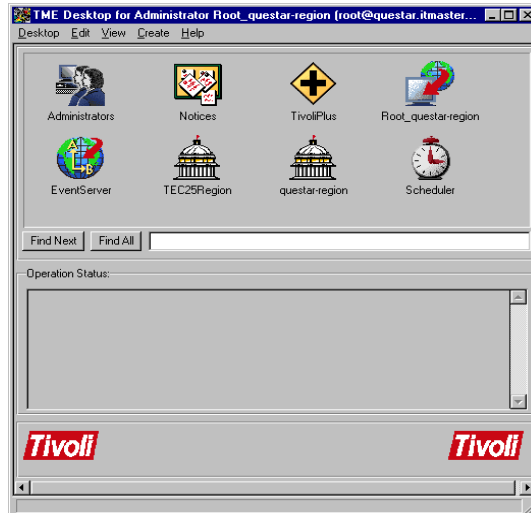
- 注： 全モニターを Windows NT ホスト上の単一グループとして管理するには、Netfinity マネージャー・ディレクトリーを Tivoli と同じ論理ドライブ上にインストールする必要があります (たとえば、C:)

6. **インストールを開始します。:**
インストール & クローズ をクリックしてモジュールをインストールし、**製品のインストール** ウィンドウをクローズします。

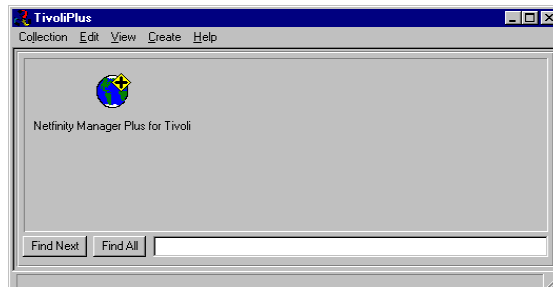
Plus モジュール・デスクトップの立ち上げ

Netfinity Manager Plus デスクトップを表示するには、以下のようにします。

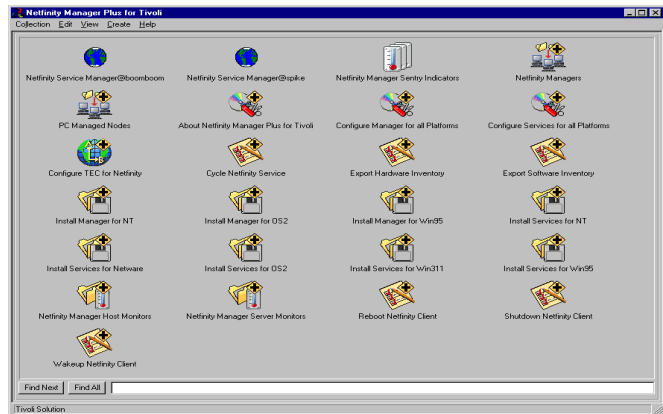
1. Tivoli を始動します。TME デスクトップが表示されます。



2. **TivoliPlus** アイコンをダブルクリックします。**TivoliPlus** ウィンドウが表示されます。



3. **Netfinity Manager Plus for Tivoli** をダブルクリックします。**Netfinity Manager Plus for Tivoli** ウィンドウが表示されます。



プロファイル・マネージャーの構成

Plus モジュールを最も容易に使用するためには、先に進む前にプロファイル・マネージャーをチェックしてください。通常 Netfinity Managers は、Plus モジュールがインストールされるときに自動的に構成されます。

Plus モジュールが Netfinity マネージャーが装備された Windows NT サーバー上にインストールされると、そのサーバーは自動的に Netfinity マネージャーのプロファイル・マネージャーに加入されます。PC 管理ノードは自動加入できません。

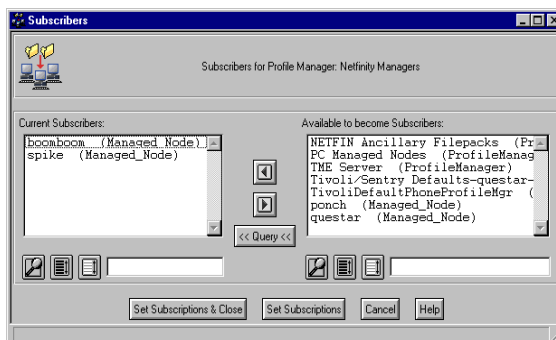
プロファイル・マネージャーは、ホスト・リスト（およびその他のプロファイル）を含む必要があります。Netfinity マネージャーについては、プロファイル・マネージャーは以下のように構成される必要があります。

- Netfinity マネージャー Managers: Netfinity マネージャー・マネージャーを実行する各ホストのホスト名が含まれる。

- PC 管理ノードは手動で構成される必要があります。

プロファイル・マネージャーの構成の変更手順は次のとおりです。

1. 希望するプロファイル・マネージャーを右クリックし、サブスクリイパーをポップアップ・メニューから選択します。サブスクリイパーウィンドウが表示されます。(Netfinity マネージャーのサブスクリイパーが以下に示されています。



2. サブスクリイパーにするために使用可能リスト内の加入者となるべきホストを見つけます。
3. ホストをクリックし、次に左矢印ボタンをクリックしてホストを現行サブスクリイパーリストに加えます。
4. プロファイルを構成するすべてのホストについて繰り返します。
5. 終了したらサブスクリプションの設定 & クローズをクリックします。

注： サブスクリイパーにするために使用可能リスト中にあるべきホストが見つからない場合は、それが管理ノード（またはクライアントの場合は PC 管理ノード）であることを確認します。Netfinity マネージャーのホストは、管理ノードでなければなりません。

3

ソフトウェア配布

本章では、Netfinity Manager Plus for Tivoli を使用して Netfinity マネージャー・ソフトウェアを配布する方法を示します。以下のトピックについて説明します。

- ソフトウェア配布の概説
- 要件のチェック
- Netfinity マネージャーの配布
- Netfinity クライアント・サービスの配布

ソフトウェア配布の概説

Netfinity マネージャー構成要素のインストールは、3段階のプロセスに分かれています。

1. **配布のためのソースを選択する。** インストールがCD-ROM から直接行われる場合であっても、またファイルを配布するためのステージング・ディレクトリーを作成する場合であっても、ソース・ファイルは Plus モジュールを稼働するホストからアクセス可能でなければなりません。ソース・ファイルに対するパスは、ファイル・パッケージの構成時に指定する必要があります。



2. **ファイル・パッケージの構成。** 配布されるソフトウェアの構成アイコンを使用します。

構成中は、ソフトウェアのインストール方法を決定するオプションが設定されます（ソースおよびホスト・ディレクトリー）。サーバーまたはサーバーについては、サーバー・プロセスが使用するユーザー名などの追加情報の提供が必要となる場合があります。



3. **ファイル・パッケージのインストール。** 配布されるソフトウェアのインストール・アイコンを使用します。

アイコンを右クリックし、**配布**を選択すると、ソフトウェアのインストールを行い、それを対応するプロファイル・マネージャー内にリストされた全加入者に配布するジョブが実行されます。

配布の制御

配布は、加入者リストの変更によって制御することができます。希望するインストール・アイコンを右クリックし、次にサブスクリイパーを選択します。サブスクリイパー ウィンドウでは、プロファイルおよび個々のホストを加入者として指定することができます。配布を使用してジョブを開始します。

要件のチェック

Tivoli ソフトウェア配布のためにソース・ファイル・ディレクトリーを設定する前に、これらの要件が満たされているかどうかチェックします。

- ソース・ホスト：ファイルのソースとして選択されるホストは、次の要件に合致しなければなりません。
 - Tivoli 管理ノードである。TMR サーバーがソース・ホストとして推奨されている。
 - その上で Tivoli Software Distribution を稼働している。
- ターゲット・ホスト：すべての配布ターゲット・ホストは、Tivoli 管理ノードまたは PC 管理ノードでなければなりません。

Netfinity マネージャーの配布

Netfinity マネージャーの配布には以下が含まれます。

1. ファイル・パッケージの構成。
2. ファイル・パッケージのインストール。

CD-ROM から配布を行う場合には、以下のことを必ず守ってください。

- ファイル・パッケージが構成されるときに、ソース・ディレクトリー・フィールドに正しいドライブ文字を指定します。
- ファイル・パッケージをインストールするときは、CD-ROM をドライブにマウントします。

ファイル・パッケージの構成



1. Netfinity Manager Plus for Tivoli ウィンドウにおいて、構成すべてのプラットフォームについてのサービスをダブルクリックします。構成 Netfinity マネージャー ウィンドウが表示されます。



2. ソフトウェア配布プロセスを準備するために必要な引き数を指定します。
 - ソース・ホスト : **Choose** ボタンを使用して使用可能ホストのリストから選択し、Netfinity インストール・メディアが存在し (CD-ROM ドライブまたはハード・ディスク)、またイン

ストール・ファイルのコピー元であるホストを指定します。

- **ソース・ディレクトリー**: インストール・メディアが存在するドライブの文字を指定します。この点におけるディレクトリー構造は、Netfinity マネージャー CD のそれと同一であることが前提となります (たとえば、インストール・ファイルが d:/Winnt/manager にある場合は、**d:/** を指定します)。
- **インストール・ディレクトリー**: Netfinity マネージャーがインストールされる配布エンドポイント上のディレクトリーを指定します (たとえば、**C:/WNETFIN**)。

3. 設定と実行をクリックします。

ファイルは構成され、配布の準備が行われます。

ファイル・パッケージのインストール



1. インストールされるサポート・プラットフォームの **Install Manager** アイコンをダブルクリックし、ポップアップ・メニューからサブスクライバーを選択します。
2. 配布先のサブスクリプション・リストを指定します。
3. サブスクリプションの**設定 & クローズ**をクリックします。
4. サポートされるプラットフォームの **Install Manager** アイコンを右クリックし、**配布** をポップアップ・メニューから選択し、ファイルを指定されたサブスクライバーに配布します。

インストール・プロセス

各ホストについて：

1. ファイル・パッケージが **C:\TEMP\MANAGER** にコピーされます。
2. **C:\TEMP\MANAGER\NETFINST.EXE** は静粛に実行されます。インストール・パラメーターは事前設定されます。Netfinity マネージャー・マネージャーは、構成タスク中に **インストール・ディレクトリー・パラメーター** によって指定されたディレクトリー内にインストールされます。

始動

アプリケーションは配布されてインストールされますが、始動はされません。ユーザーはデスクトップからアプリケーションを始動することができます。

Netfinity クライアント・サービスの配布

クライアント・サービスの配布には以下が含まれます。

1. ファイル・パッケージの構成。
2. ファイル・パッケージのインストール。

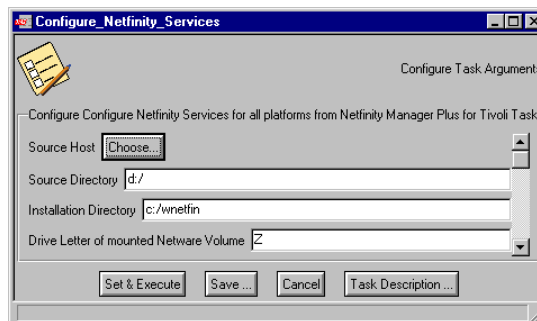
CD-ROM から配布を行う場合には、以下のことを必ず守ってください。

- ファイル・パッケージが構成されるときに、ソース・ディレクトリー・フィールドに正しいドライブ文字を指定します。
- ファイル・パッケージをインストールするときは、CD-ROM をドライブに装てんします。

ファイル・パッケージの構成



1. Netfinity Manager Plus for Tivoli ウィンドウにおいて、構成すべてのプラットフォームについての **Netfinity** サービスをダブルクリックします。構成ウィンドウが表示されます。



2. ソフトウェア配布プロセスを準備するために必要な引き数を指定します。
 - ソース・ホスト **:Choose** ボタンを使用して使用可能ホストのリストから選択し、Netfinity マネージャー・インストール・メディアが存在し（CD-ROM ドライブまたはハード・ディ

スク)、またインストール・ファイルのコピー元であるホストを指定します。

- **ソース・ディレクトリー**: インストール・メディアが存在するドライブの文字を指定します。この点におけるディレクトリー構造は、Netfinity マネージャー CD のそれと同一であることが前提となります (たとえば、インストール・ファイルが d:/Winnt/services にある場合は、**d:/** を指定します)。
- **インストール・ディレクトリー**: Netfinity がインストールされる配布エンドポイント上のディレクトリーを指定します (たとえば、**C:/WNETFIN**)。
- **マウントされた NetWare ボリュームのドライブ文字**: Netware サーバー・ボリュームが装着されている NT Netware クライアントのドライブを指定します (たとえば、ドライブ G:/ が NT Netware クライアントから Netware サーバー NW001 の SYS:NETFIN にマッピングされています)。これは Netfinity マネージャーが Netware サーバー上にもインストールされる場所です。

3. 設定と実行をクリックします。

ファイルは構成され、配布の準備が行われます。

ファイル・パッケージのインストール



1. サポートされるプラットフォームの **Install Services** アイコンを右クリックし、サブスクリイバーをポップアップ・メニューから選択します。
2. 配布先のサブスクリプション・リストを指定します。
3. サブスクリプションの**設定 & クローズ**をクリックします。
4. サポートされるプラットフォームの **Install Services** アイコンを右クリックし、**配布**をポップアップ・メニューから選択して、ファイルを指定された加入者に配布します。

インストール・プロセス

各ホストについて：

- ファイル・パッケージは **C:\TEMP\SERVICES** にコピーされます。

インストールを完了させるためには、ホストにおいて **C:\TEMP\SERVICES\NETFINST.EXE** を実行します。

始動

アプリケーションがインストールされると、ユーザーはデスクトップからそのアプリケーションを始動することができます。

4

分散モニター

本章では、Netfinity Manager Plus for Tivoli が Tivoli Distributed Monitoring をどのように使用して資源モニター機能を提供するかを示します。

本章は以下について説明します。

- Netfinity マネージャー・モニター
- 分散モニター
- モニター・プロパティの変更
- モニター状況の表示
- Plus モジュールで提供される事前構成済み Netfinity マネージャー・モニターのプロパティ

Netfinity マネージャー・モニターは TEC イベントをその応答の一部として送信します。詳しくは、5 章、"TEC イベント" を参照してください。

Netfinity マネージャー・モニター

以下のモニターが Plus モジュールとともに提供されます。



- **Netfinity Manager Host Monitors:** Netfinity マネージャー・マネージャーが稼働しているホストの可用性をモニターします。これらは TMR サーバー・ホストに分散されます。



- **Netfinity Manager Monitors:** Netfinity クライアント・サービスの可用性をモニターします。これらは Netfinity マネージャー・ホストに分散されます。

デフォルト・プロパティー

デフォルトではモニターが使用可能になっています。それらを使用不可にし、モニター・プロパティーを編集するときに応答を構成することが可能です。

注： 事前構成済みモニター・プロパティーを、変更する前に 1 セットとして分析すべきです。4-10 ページの“モニター条件”を検討してください。

応答

次のリストはモニターに関する可能な応答を示しており、また応答が Netfinity マネージャー・モニターのためにデフォルトによってオンになっているかどうかを示しています。

- **ポップアップ: NO**
- **Tivoli 通知: NO**
- **TEC イベント: YES**
- **セントリー・インディケーター: NO**
- **自動アクション: NO**—ただし、TEC サーバーはモニターによって送信される TEC イベントに対して、自動的に応答する場合があります。詳細は、5 章、“TEC イベント”を参照してください。

モニターの配布

モニターをアクティブとするためには配布する必要があります。次の手順は、Netfinity マネージャー・モニターを例として使用していますが、他のモニターにも適用可能です。



1. 配布：

Netfinity Manager Plus ウィンドウで、**Netfinity Manager Monitors** アイコンを右クリックし、次に**配布**をメニューから選択します。プロフィールの**配布**ダイアログが表示されます。



2. スケジュールを選択すると、モニターが別の時間に配布されます。そうでなければ、即時配布をクリックします。

モニターが配布されます。

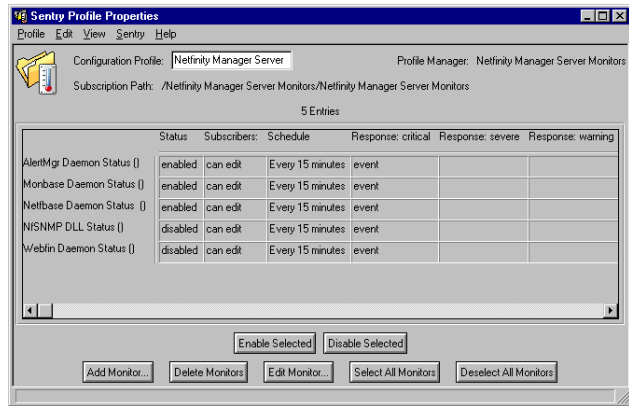
- Netfinity マネージャー Host Monitors は Tivoli TMR サーバー・ホストに配布されます。
- Netfinity マネージャー Server Monitors は、サーバー・ホストに配布されます。

モニター特性の変更

Netfinity マネージャーのサーバー・モニターは、即時使用できるように事前構成されています。以下の情報を使用して特性をカスタマイズします。

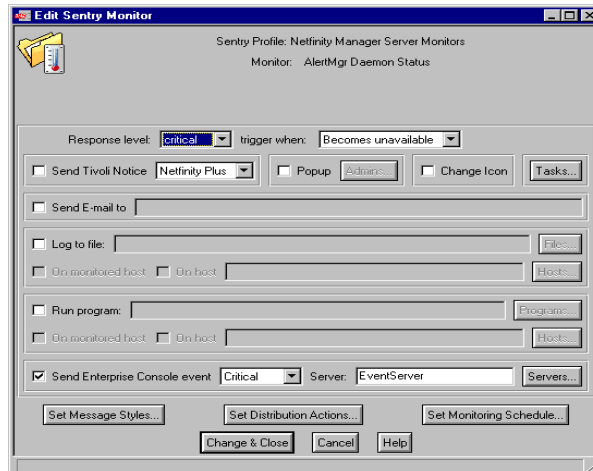


1. 希望する Monitors アイコンを右クリックし、次に特性を選択します。セントリー・プロファイル特性ウィンドウが表示されます。



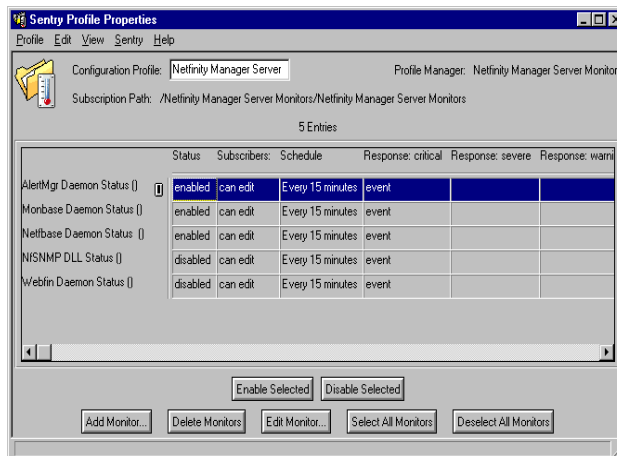
2. 希望するモニターを選択し、次にモニターの編集をクリックします。(この場合、**AlertMgrDaemon Status** モニターが選択された想定されます。)

セントリー・モニターの編集ウィンドウが表示されます。



各モニターのトリガー・レベルおよび応答を変更することができます。

3. 希望どおりに特性を変更し、**変更 & クローズ**をクリックします。プロファイル特性ウィンドウで、変更バーが編集を行ったモニターの隣に加えられていることに注意してください。



4. プロファイル・メニューで、**保管**を選択します。
5. モニターを配布します。(希望する Monitors アイコンを右クリックし、次に**配布**を選択します。表示されるダイアログで、**即時配布**をクリックするか、配布をスケジュール化します。)

注：重大度レベルおよび応答を変更する前に、事前構成済みモニター特性を 1 セットとして分析する必要があります。4-10 ページの“モニター条件”を参照してください。

ポーリング間隔

Netfinity マネージャー・モニターは、15 分間隔でポーリングを行うように事前構成されています。ポーリング間隔は、前記のセントリー・プロファイルの編集ウィンドウで示されているように、各モニターについて設定可能です。

モニター状況の表示

モニター状況はいくつかの方法で表示することができます。各モニターを構成し、その状況を発信するために 1 つまたは複数の方法を使用することができます。

- ポップアップ
- Tivoli 通知
- TEC イベント
- セントリー・インディケーター

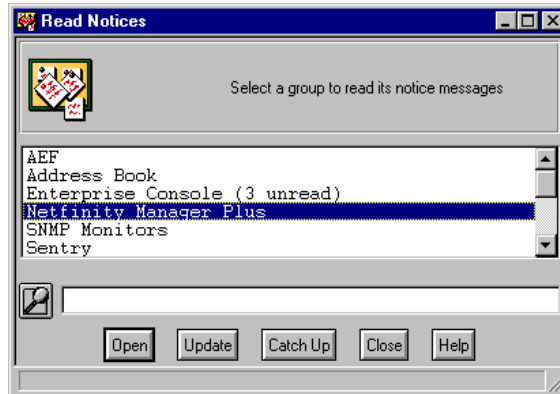
ポップアップ

使用可能のときは、ポップアップ・ダイアログがモニター・トリガーが活動化されるごとに管理者の画面に表示されます。

Tivoli 通知

使用可能のときは、モニター・トリガーが活動化されるごとに Tivoli 通知に通知が送られます。Netfinity マネージャー・モニターはそれ自身の通知グループを持ちます。通知は次の手順で表示します。

1. TME デスクトップ上で、**通知**をダブルクリックします。通知グループのリストが表示されます。



リスト中の各項目は、グループとそのグループの未読通知の数を示しています。

2. 希望グループをダブルクリックします。メッセージ・ウィンドウが表示されます。

このウィンドウで、通知に対する**選択**、**ビュー**、または**返答**を行います。詳細については、Tivoli 資料を参照してください。

3. 終了したら、**クローズ**をクリックします。

TEC イベント

一部のトリガーは、関連する TEC イベントを持ちます。TEC イベントの送信がトリガーについて使用可能になっている場合は、トリガーが活動化されるごとにイベントが TEC サーバーに送られます。TEC イベント

トに関する詳しいことは、5章、「TEC イベント」を参照してください。

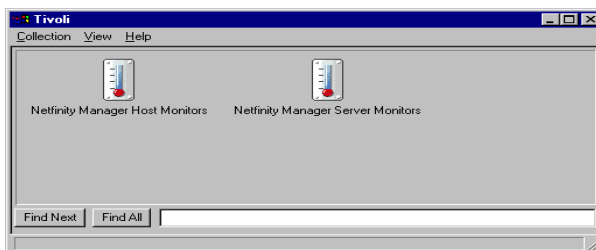
セントリー・インディケーター

セントリー・インディケーターが使用可能のときは、Plus デスクトップ上の温度計アイコンの変化は、トリガーが活動化されるごとにトリガーの重大度レベルを示します。

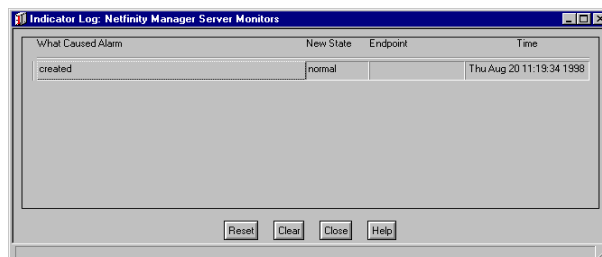
セントリー・インディケーターが使用可能なときの使用方法は次のとおりです。



1. **Netfinity Manager Plus for Tivoli** ウィンドウで、**Netfinity Manager Sentry Indicators** アイコンをダブルクリックします。分散モニター・インディケーターのウィンドウが表示され、各モニター・タイプにつき1つのインディケーターが表示されます。



2. インディケーターをダブルクリックしてモニター・アラームのログを表示します（この例では、**Netfinity Manager Server Monitors**）。ログ・ウィンドウが表示されます。



3. リセットをクリックしてインディケータをリセットします。クリアをクリックしてログ内の全項目をクリアします。
4. 終了したらクローズ をクリックします。

モニター条件

次の表は、モニター状態とモニターが提供されたときのトリガー・アクションの関係を示しています。トリガーと応答は必要に応じてカスタマイズすることができます。

要約

以下はモニター状態の要約リストです。

- Netfinity Manager Host Monitors
 - **Manager Host Status:**Netfinity マネージャー・ホストの可用性をモニターします。
- Netfinity Manager Server Monitors
 - **Netbase Daemon Status:**Netfinity Managers および Client Services 上の Netfinity netbase デーモンの可用性をモニターします。
 - **Monbase Daemon Status:**Netfinity Managers および Client Services Netfinity monbase デーモンの可用性をモニターします。
 - **AlertMgr Daemon Status:** Netfinity Managers および Client Services 上の Netfinity アラート・マネージャー・デーモンの可用性をモニターします。
 - **NfSNMP DLL Status:** Netfinity Managers 上の nfsnmp.dll ライブラリーのロード状況をモニターします。
 - **Webfin Daemon Status:**Netfinity Managers および Client Services 上の Netfinity webfin.exe デーモンの状況をモニターします。
 - **Manager Host Status:**Netfinity Managers および Client Services 上の Netfinity マネージャーの状況をモニターします。

以下のページの各表は、プロパティを編集したときにモニターに関して表示される状態と応答に関する表

と対応しています。各モニターは、6つの重大度レベルのそれぞれに関するトリガーと応答を持つことができます。

- **重大度**: 個々のトリガーは各重大度に関して構成することができます。表においては、重大度の欄は Distributed Monitoring (Sentry) および TEC に関する重大度の各レベルを示しています。
- **起動時**: この欄の各項目は、トリガーが構成されているかどうか、またどの状態がトリガーをアクティブにするかを示しています。
- **デフォルト・アクション**: この欄の各項目は、起動されたときにモニターが実行することを示しています。5つの可能性があります: ポップアップ・ダイアログ、イベントの TEC への送信、インディケーターの変更、通知の送信、および処置の自動化。

Netfinity Manager Host Monitors

Manager ホスト状況

重大度レベル		起動時	デフォルト・アクション
分散モニター	TEC		
クリティカル	クリティカル	ホストが使用不能となる	重大イベント Netfinity_Host_Status を TEC に送信
重大	クリティカル	N/A	なし
警告	警告	N/A	なし
リセット	不明	ホストが使用可能となる	リセット・イベント Netfinity_Host_Status を TEC に送信
正常	N/A	N/A	なし
常時	N/A	N/A	なし

Netfinity Manager Server Monitors

Netfbase デーモン状況

重大度レベル		起動時	デフォルト・アクション
分散モニター	TEC		
クリティカル	クリティカル	サービスが使用不能となる	クリティカル・イベント NETF_Netfbase_Daemon_ Status を TEC に送信。再 始動の試行。
重大	クリティカル	N/A	なし
警告	警告	N/A	なし

重大度レベル		起動時	デフォルト・アクション
分散モニター	TEC		
リセット	不明	サービスが使用可能となる	リセット・イベントを TEC に送信
正常	N/A	N/A	なし
常時	N/A	N/A	なし

Monbase デーモン状況

重大度レベル		起動時	デフォルト・アクション
分散モニター	TEC		
クリティカル	クリティカル	サービスが使用不能となる	クリティカル・イベント NETF_Monbase_Daemon_Status を TEC に送信。再始動の試行。
重大	クリティカル	N/A	なし
警告	警告	N/A	なし
リセット	不明	サービスが使用可能となる	リセット・イベントを TEC に送信
正常	N/A	N/A	なし
常時	N/A	N/A	なし

AlertMgr デーモン状況

重大度レベル		起動時	デフォルト・アクション
分散モニター	TEC		
クリティカル	クリティカル	サービスが使用不能となる	NETF_AlertMgr_Daemon_Status イベントを TEC に送信。再始動の試行。
重大	クリティカル	N/A	なし
警告	警告	N/A	なし
リセット	不明	サービスが使用可能となる	イベントを TEC に送信。
正常	N/A	N/A	なし
常時	N/A	N/A	なし

NfSNMP DLL 状況

このモニターはデフォルトでは使用不可になっています。これを使用するためには、使用可能に変更します。

重大度レベル		起動時	デフォルト・アクション
分散モニター	TEC		
クリティカル	クリティカル	サービスが使用不能となる	NETF_NfSNMP_DLL_Status イベントを TEC に送信。再始動の試行。
重大	クリティカル	N/A	なし
警告	警告	N/A	なし
リセット	不明	サービスが使用可能となる	イベントを TEC に送信。
正常	N/A	N/A	なし

重大度レベル		起動時	デフォルト・アクション
分散モニター	TEC		
常時	N/A	N/A	なし

Webfin デーモン状況

このモニターはデフォルトでは使用不可になっています。これを使用するためには、使用可能に変更します。

重大度レベル		起動時	デフォルト・アクション
分散モニター	TEC		
クリティカル	クリティカル	サービスが使用不能となる	NETF_Webfin_Daemon_Status イベントを TEC に送信。再始動の試行。
重大	クリティカル	N/A	なし
警告	警告	N/A	なし
リセット	不明	サービスが使用可能となる	イベントを TEC に送信。
正常	N/A	N/A	なし
常時	N/A	N/A	なし

5

TEC イベント

本章では、分散モニターによって送信されるイベントの受信と処理を行うために TEC Server をセットアップする方法を説明します。以下について説明します。

- TEC Server の構成
- TEC コンソール内での Netfinity マネージャー・イベントの表示
- イベント、規則、および自動処置のリスト表示

イベント・サーバーは、分散モニターおよび Netfinity マネージャーによって送信されるイベントを処理します。イベントの処理は規則ベースに従って行われます。イベントとその処理のために使用される規則に基づき、サーバーは、イベントを Tivoli Event Console (TEC) に転送するか、応答して処置を実行することができます。

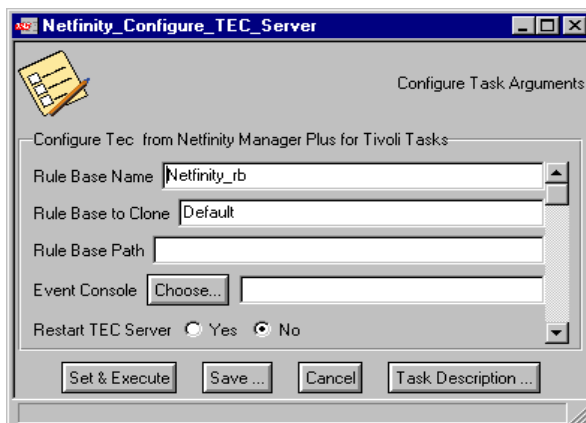
イベント・サーバーを設定するためには、その前に最低 1 つのイベント・コンソールをインストールする必要があります。

TEC サーバーの構成

Netfinity Manager Plus イベント・クラスおよび規則ベースを使用するために TEC Server を構成しないと、Netfinity マネージャー・イベントを Tivoli Enterprise Console からモニターすることはできません。サーバーを構成するためには、以下を行います（注：TEC 3.6 の場合、このタスクを実行する前に wdelsrc SENTRY を TEC サーバーから実行しなければなりません）。



1. **Netfinity Manager Plus for Tivoli** ウィンドウで、**Configure TEC for Netfinity Manager** をダブルクリックします。Netfinity_Configure_TEC_Server ウィンドウが表示されます。



2. 情報を記入します。
 - **規則ベース名**：固有の規則ベース名、たとえば **Netfinity_rb** を入力します。“Default.” を使用してはいけません。
 - **複製する規則ベース**：現行規則ベースの名前を入力します。まだ定義されていない場合は、デフォルトを使用します。
 - **規則ベース・パス**：規則ベース・ファイルを保持するディレクトリーを入力します。この

ディレクトリーはすでに存在しているものではないけません。

- イベント・コンソール :**Choose** ボタンを使用して、TME の希望する イベント・コンソールを選択します。Event Console は、Event Server を構成する前に存在していなくてはなりません。
 - **TEC サーバーの再始動 :Yes** をクリックして TEC サーバーを再始動します。変更された規則ベースは、TEC サーバーが再始動するまで効果を持ちません。
3. **設定と実行**をクリックします。ルール・ベース・ファイルは構成されます。出力ウィンドウが表示されます。エラーがないかチェックしてください。

Netfinity マネージャー・イベントの表示

Configure TEC タスクが実行されると、TEC サーバー上で以下が設定されます。

- Netfinity マネージャー・イベントのイベント・グループ :NETFINITY_PLUS
- Netfinity マネージャー・イベントのイベント・ソース :NETFINITY
- 全分散モニター・ソースのイベント・ソース :SENTRY。このイベント・ソースはすでに存在しているものでも構いません。

このタスクはイベント・グループに加入するために選択されたイベント・コンソールの構成も行います。すべての管理者は、デフォルトでは全ソースに対して加入されています。

イベントの表示

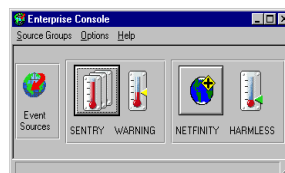
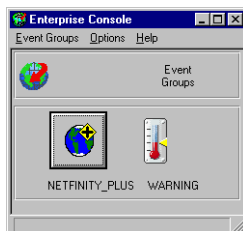
Netfinity マネージャー・イベントの表示手順は次のとおりです。



1. TME デスクトップ上で、**Setup TECServer** タスクにおいて構成されたイベント・コンソールをダブルクリックします。(下のウィンドウでは、使用するアイコンは **Root_questar-region** です。)

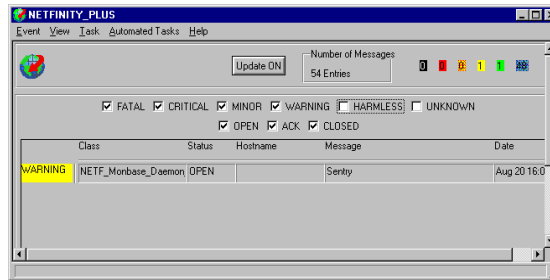


イベント・グループ およびイベント・ソースと2つのウィンドウが表示されます。



2. 表示するイベントのボタンをクリックします。イベント・ウィンドウが表示されます。

(NETFINITY_PLUS イベント・グループのウィンドウが表示されます。)



Netfinity マネージャー・イベントをこのウィンドウで表示および管理することができます。詳しいことは、Tivoli 資料を参照してください。

注： セントリー・イベント・ソースが選択されると、Tivoli に関する Netfinity Manager Plus または Netfinity Manager Plus モジュールに関する セントリー・イベントばかりでなく、すべての セントリー・イベントが表示されます。

その他の TEC コンソールの構成

NETFINITY_PLUS イベント・グループおよび NETFINITY および SENTRY イベント・ソースは、他の TEC コンソールに割り当てることができます。割り当て方法については、Tivoli 資料を参照してください。

TEC イベントおよびルール

セントリー・モニターはイベントを Tivoli EnterpriseConsole (TEC) に送ります。下の“イベント・リスト”セクションは、使用されるすべてのイベント・クラスをリスト表示しています。前の章では、“モニター状態”のセクションがイベントの重大度をリスト表示しています。あるイベントが TEC イベント・サーバーによって受信されると、そのイベントの取扱い方法を決定するためにルール・ベースが参照されます。下の“TEC ルールおよび処置のリスト”のセク

ションは、イベントまたはイベントの組み合わせによって起動可能なルールと処置をリスト表示しています。

ルール・ベースはカスタマイズ可能です。詳細については、Tivoli Enterprise Console の資料を参照してください。

TEC イベント・リスト

イベント・クラス	状態
NETF_Netfbase_Daemon_Status	モニターから : Nefinity netfbase プロセスが使用不可または使用可能となったときに送信。
NETF_Monbase_Daemon_Status	モニターから : Netfinity monbase プロセスが使用不可または使用可能となったときに送信。
NETF_AlertMgr_Daemon_Status	モニターから : Netfinity alertmgr プロセスが使用不可または使用可能となったときに送信。
NETF_NfsSNMP_DLL_Status	モニターから : NfsSNMP DLL が SNMP サービスにロードされる時、またはされないときに送信。
NETF_Webfin_Daemon_Status	モニターから : Netfinity webfin プロセスが使用不可または使用可能となったときに送信。
NETF_Host_Status	モニターから : Netfinity host プロセスがダウンまたはアップとなったときに送信。
NETF_Daemon_Restart_Count_Exceeded	相関ルールから : 再始動の回数が超過したとき (24 時間の間に 3 回) に送信。
NETF_Trap	TEC SNMP アダプターから : アダプターから転送される Netfinity 生成のアラートに関する一般クラス。

TEC ルールの処置とリスト

イベント・クラス/ルール	イベント / 処置
すべて	重複している場合は取り除く。重複カウンターを増分する。
NETF_Daemon_Restart_Count_Exceeded: 重大度が CRITICAL のイベント・メッセージ 1,2,3, または 5 が 24 時間以内に 3 回受信された場合。	自動処置 :NETF_Daemon_Restart_Count_Exceeded イベントを生成。
NETF_Netbase_Daemon_Status: 重大度 CRITICAL のイベント・メッセージが受信された場合。	自動処置 : netfbase プロセスを再始動。
NETF_Monbase_Daemon_Status: 重大度 CRITICAL のイベント・メッセージが受信された場合。	自動処置 : netfbase プロセスを再始動。
NETF_AlertMgr_Daemon_Status: 重大度 CRITICAL のイベント・メッセージが受信された場合。	自動処置 : netfbase プロセスを再始動。
NETF_NfsNMP_DLL_Status: 重大度 CRITICAL のイベント・メッセージが受信された場合。	自動処置 : nfsnmp.dll を snmp.exe プロセスに再ロード。
NETF_Webfin_Daemon_Status: 重大度 CRITICAL のイベント・メッセージ が受信された場合。	自動処置 : webfin プロセスを再始動。

6

タスク操作

日常の管理において、Netfinity Manager Plus for Tivoli を使用して管理操作を実行することができます。タスク操作は、ジョブとして実行することも、また Netfinity Manager Plus for Tivoli ウィンドウ内のタスク・アイコンからのタスクとして実行することもできます。以下のトピックについて説明します。

- **Netfinity Manager Plus タスク** : 各操作をリストし、タスクのための必要な引き数をリストします。
- **ジョブとタスクの概説** : ジョブまたはタスクとしての操作の実行方法を説明します。
- **ジョブ** : ジョブとしての操作の実行方法とジョブ・オプションの変更方法を説明します。
- **タスク** : タスクとしての操作の実行方法とタスク・オプションの変更方法を説明します。

Netfinity Manager Plus タスク

これは Netfinity Manager Plus デスクトップから実行可能な管理操作と、各操作が必要とする引き数のリストです。引き数値が指定されることを操作が必要とする場合は、実行前にダイアログが表示されます。そうでない場合は、後のセクションで説明されているように、そのまま実行されます。

ハードウェア・インベントリーおよびソフトウェア・インベントリー・タスクは以下のデータベース構成をサポートします。

- DB2 データベース・エクスポート
- ODBC データベース・エクスポート
- DB2 ファイルのファイル・エクスポート

Netfinity クライアントのリポート

このタスクは、Netfinity マネージャー・ホストから指定された個々のあるいはグループの Netfinity クライアント・サービス・ホスト上でリポートを実施します。

引き数

- **タイプ**: 実施するリポートのタイプを選択します。有効な選択肢は次のとおりです:**Netfinity グループ** (NetfinityServices を実行する Netfinity マネージャー・システムの集合)、**Netfinity システム** (デフォルトとして設定) (これは個々の Netfinity マネージャー・システムです)、および、**すべて** (これは全グループ内のすべての Netfinity マネージャー・システムです)。
- **Netfinity グループ**: Netfinity グループ名を入力します。これは、リポート操作が発行される NT Netfinity マネージャーが認識する有効な Netfinity マネージャー・グループでなければなりません。(コマンド行に **nfrsyscl /getgrp /ALL** と入力すると、このオプションのために使用可能な定義済み

Netfinity マネージャー・グループのリストが提供されます。)

- **Netfinity システム** :Netfinity マネージャー またはクライアント・サービス名を入力します。これは、リポート操作が発行される NT Netfinity マネージャーが認識する有効な Netfinity マネージャー・システムでなければなりません。有効な引き数は nfrsyscl 出力内の SYSNAME に対応する値です。(コマンド行に **nfrsyscl/getsys /all** を入力すると、このオプションが使用可能な定義済み Netfinity システムのリストが提供されます。)

実行時には、タスク出力ウィンドウが表示されます。

Netfinity クライアントの遮断

このタスクは、Netfinity Manager ホストから指定された個々のまたはグループの Netfinity マネージャー・クライアント・ホスト上で遮断を実施します。引き数は次のとおりです。

- **タイプ** : 実施する遮断のタイプを選択します。有効な選択肢は次のとおりです :**Netfinity グループ** (NetfinityServices を実行する Netfinity マネージャー・システムの集合)、**Netfinity システム** (デフォルトとして設定) (これは個々の Netfinity マネージャー・システムです)、および、**すべて** (これは全グループ内のすべての Netfinity マネージャー・システムです)。
- **Netfinity グループ** : Netfinity グループ名を入力します。これは、リポート操作が発行される NT Netfinity マネージャーが認識する有効な Netfinity マネージャー・グループでなければなりません。(コマンド行に **nfrsyscl/getgrp /ALL** と入力すると、このオプションは使用可能な定義済み Netfinity グループのリストが提供されます。)
- **Netfinity システム** :Netfinity マネージャー・ホスト名を入力します。これは、リポート操作が発行される NT Netfinity マネージャーが認識する有効

な Netfinity マネージャー・システムでなければなりません。有効な引き数は nfrsyscl 出力内の SYSNAME に対応する値です。(コマンド行に **nfrsyscl/getsys /all** を入力すると、このオプションが使用可能な定義済み Netfinity システムのリストが提供されます。)

実行時には、タスク出力ウィンドウが表示されます。

Netfinity クライアントのウェイクアップ

このタスクは、個々の Netfinity マネージャー・マネージャーまたはクライアント、あるいは Netfinity マネージャー・マシンのグループのウェイクアップを実行し、パワーダウン中に使用不能な情報を入手します。このタスクは、Wake-on-LAN NIC がインストールされたシステム上でのみ機能します。

- **タイプ**: 実施するシャットダウンのタイプを選択します。有効な選択肢は次のとおりです：
Netfinity グループ (NetfinityServices を実行する Netfinity マネージャー・システムの集合)、
Netfinity システム (デフォルトとして設定) (これは個々の Netfinity マネージャー・システムです)、および、**すべて** (これは全グループ内のすべての Netfinity マネージャー・システムです)。
- **Netfinity グループ**: Netfinity グループ名を入力します。これは、リブート操作が発行される NT Netfinity マネージャーが認識する有効な Netfinity マネージャー・グループでなければなりません。(コマンド行に **nfrsyscl/getgrp /ALL** と入力すると、このオプションは使用可能な定義済み Netfinity グループのリストが提供されます。)
- **Netfinity システム**: Netfinity マネージャーホスト名を入力します。これは、リブート操作が発行される NT Netfinity マネージャーが認識する有効な Netfinity マネージャー・システムでなければなりません。有効な引き数は nfrsyscl 出力内の SYSNAME に対応する値です。(入力するに

`nfrsyscl /getsys /all` を入力すると、このオプションに使用可能な定義済み Netfinity マネージャー・システムのリストが提供されます。

実行時には、タスク出力ウィンドウが表示されます。

ハードウェア・インベントリーのエクスポート

このタスクは、個々の Netfinity マネージャー・マネージャーまたはクライアント・ハードウェア・インベントリーを、リレーショナル・データベースまたはデータベース・ファイルにエクスポートします。

引き数は次のとおりです。

- **Netfinity システム** : Netfinity マネージャー またはクライアント・システム名を入力します。これは、ハードウェア・インベントリーが生成されるクライアントの Netfinity マネージャー・システム名です。
- **データベース・ドライバー** : エクスポートされる情報を集めるために使用される入手可能エクスポート・ユーティリティーのリストから選択します。(DB2 データベース・エクスポートはデフォルトです。) この引き数はどのタイプのデータベースまたはファイルにインベントリーがエクスポートされるかを指定します。
- **データベース名** : エクスポートされる情報が格納されるデータベース名を入力します (インベントリーがエクスポートされるデータベース・インスタンス)。

実行時には、タスク出力ウィンドウが表示されます。

ソフトウェア・インベントリーのエクスポート

このタスクは、個々の Netfinity マネージャー・マネージャーまたはクライアント・ソフトウェア・インベントリーを、リレーショナル・データベースまたはデータベース・ファイルにエクスポートします。

引き数は次のとおりです。

- **Netfinity システム** :Netfinity マネージャー・マネージャーまたはクライアント・システム名を入力します。これは、ハードウェア・インベントリーが生成されるクライアントの Netfinity マネージャー・システム名です。
- **データベース・ドライバー** : エクスポートされる情報を集めるために使用される入手可能エクスポート・ユーティリティーのリストから選択します。(DB2 データベース・エクスポートはデフォルトです。) この引き数はどのタイプのデータベースまたはファイルにインベントリーがエクスポートされるかを指定します。
- **データベース名** : エクスポートされる情報が格納されるデータベース名を入力します (インベントリーがエクスポートされるデータベース・インスタンス)。
- **ソフトウェア・インベントリー・ディレクトリ** : これはシステム上に格納されているソフトウェアをリスト表示するソフトウェア・インベントリーです (Netfinity マネージャーのホーム・ディレクトリーにあります)。デフォルト・ディレクトリーは **default.sid** で、最初のインベントリー・スキャンが実施されるまでは空です。

実行時には、タスク出力ウィンドウが表示されます。

周期 Netfinity サービス

このタスクは、Netfinity マネージャーを稼働する NT 管理ノード上で、Netfbase サービスの開始、停止、および再始動を行います。

引き数は次のとおりです。

- **アクション・オプション** : NT Netfinity マネージャー上で、Netfinity Manager サポート・プログラムを **開始**、**停止**、または**再始動**を行うかどうかを指定します。

実行時には、タスク出力ウィンドウが表示されます。

ジョブとタスクの概説

管理操作は、**Netfinity Manager Plus for Tivoli** ウィンドウにおいて **タスク・アイコン icons** として表示されます。

タスク・アイコンから、操作はジョブまたはタスクとして実行可能です。ジョブは、ルーチン操作またはサービス全体の制御手段として繰り返し実行されることが意図されています。これは一般的に複数の加入者で実行されます。タスクは、1つまたは複数の選択されたホストあるいはタスク・エンドポイント上で、特別の1回だけの操作として実行されることが意図されています。

- **ジョブ**: 操作をジョブとして実行するには、タスク・アイコンをダブルクリックするか、タスク・アイコンを右クリックしてから**ジョブの実行**をメニューから選択します。オプションを指定する必要がある場合は、その入力を促すダイアログが表示されます。

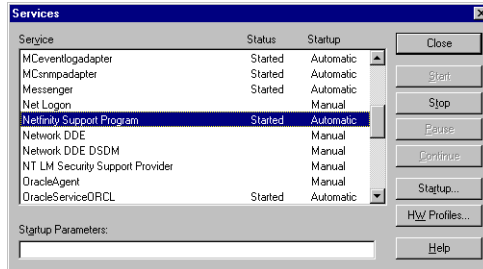
ジョブの実行方法を指定するには、タスク・アイコンを右クリックしてから、**ジョブの変更**をメニューから選択し、ジョブを実行します。

- **タスク**: 操作をタスクとして実行するには、タスク・アイコンを右クリックしてから**選択されたホストでの実行**をメニューから選択します。タスクの実行方法とそれが実行されるホストを尋ねてくるダイアログが表示されます。タスクが実行されると、必要に応じて別のダイアログがオプションを求めてきます。

立ち上げサービスとタスク・サービス

タスクと Netfinity Manager Console アプリケーション立ち上げは、実行のための異なる Windows NT サービスを必要とします。“Netfinity Service Manager” のためのアプリケーション立ち上げは、netfbase サービス

(Netfinity サポート・プログラムとも呼ばれる) の実行を必要とします。Windows NT サービスの開始と停止を行うには、コントロールパネルをオープンし、**Services** を開始します。



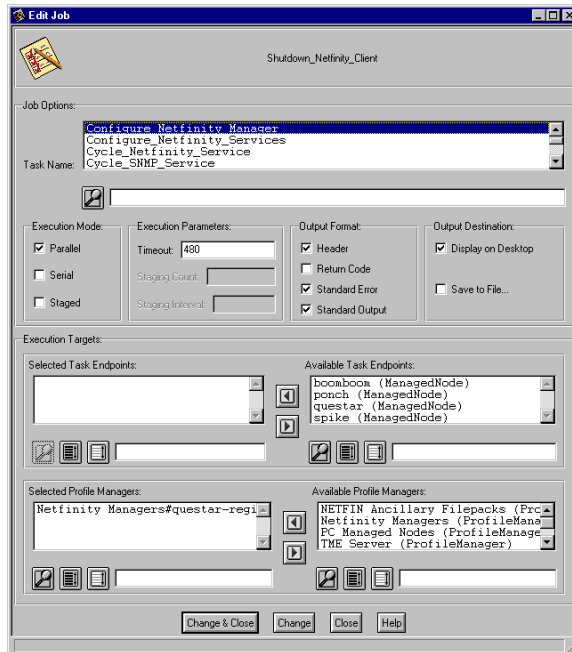
ジョブ

操作がジョブとして実行されると、通常はデフォルト加入者セットで実施され、またデスクトップ上のウィンドウに通常は出力を生成します。

ジョブ構成の変更

ジョブを変更するには、以下のステップを実施してからジョブを実行してください。

1. 希望するタスク・アイコンを右クリックし、次にジョブの変更をメニューから選択します。ジョブの編集ウィンドウが表示されます。



2. パラメーターを希望どおりに変更し、変更 & クローズをクリックします。ジョブ・パラメーターは、ジョブが実行されることに有効となります。

示されている例は、**Shutdown Netfinity Client** 操作に関するものです。NetfinityManager Servers に関するプロファイルは、実行のターゲットです。デフォルト出力が、保管可能なウィンドウに送られることに注意してください。

ジョブの実行

ジョブの実行手順は次のとおりです。

1. 希望するタスク・メニューを右クリックし、**ジョブの実行**をメニューから選択します。ジョブ・オプションが必要な場合は、プロンプトが表示されます。
2. 希望どおりにオプションを設定し、次に**設定と実行**をクリックします。出力ウィンドウが表示されます。
3. **ファイルに保管**をクリックして出力を保管します。
4. 終了したら**クローズ**をクリックします。

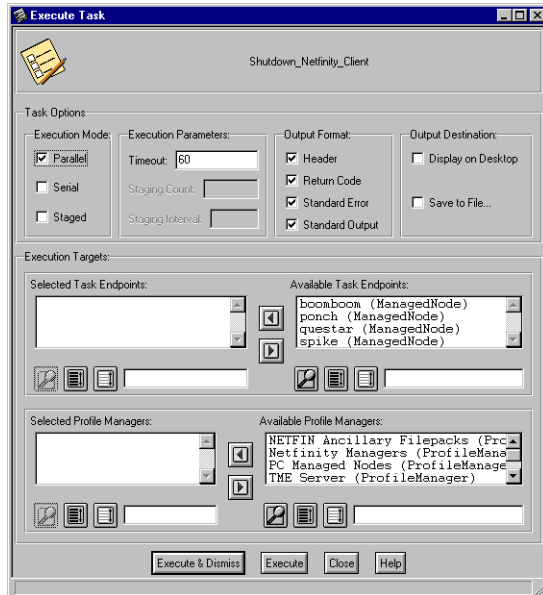
スケジュール・ジョブの作成

操作セットをスケジュール化し、特定時刻で実行することができます。詳細については、Tivoli ソフトウェア資料を参照してください。

タスク

操作をタスクとして実行する手順は次のとおりです。

1. タスク・アイコンを右クリックし、次に**選択されたサブスクリャイバーでの実行**を選択します。タスクの**実行ウィンドウ**が表示されます。



2. 希望する**タスク・オプション**を選択し、次に**実行 & 終了**をクリックします。タスクにはデフォルト加入者はないこと、またデフォルトでは出力が指定されないことに注意してください。
3. ジョブ・オプションが必要な場合は、プロンプトが表示されます。
4. 希望どおりにオプションを設定し、次に**設定と実行**をクリックします。出力ウィンドウが表示されます。必要に応じて出力を保管します。
5. ファイルに**保管**をクリックして出力を保管し、終了したら**クローズ**をクリックします。

7

トラブルシューティング

本章では、Netfinity Manager Plus for Tivoli の実行中に生じる可能性のある問題の分析方法を説明します。テクニカル・サポートに問い合わせる前に、ここに推奨されている手順を試みてください。

問題の分析

分散システム・サービスは相互依存していることを覚えておくといよいでしょう。以下の記述では、各サービスは層として示されています。各層はその下にある層の健全な機能に依存しています。

Netfinity Manager Plus
Netfinity サーバー
Tivoli サーバー
TCP/IP ネットワーク・サーバー
ホスト

サービス中断の最も一般的な原因は、サーバーの障害またはサーバーのハングで、両方ともサーバーの停止と再始動によってクリアすることが可能です。もう1つの一般的な原因は、ホストの問題で、これはホストをリブートすることによってクリア可能です。

Netfinity Manager Plus for Tivoli の問題を診断するときは、システム・サービスの各層（特に Tivoli サーバー）が正常に機能していることを最初に確認します。

冗長メッセージをオンにする

ファイル `/tmp/NETFINdebug` を TMR ホスト上に作成します（手順は、以下に示されているように、UNIX ベースの TMR や Windows NT ベースの TMR とは少し異なります）。このファイルが存在するときは、タスクが実行されるにつれてより多くのメッセージが Output ウィンドウに生成されます。冗長メッセージをオフにするには、ファイルを削除します。

標準エラーおよび標準出力は、各実行されるタスクに関する `$DBDIR/tmp` 内の個別ファイルにも書き込まれます。

UNIX

```
$ touch /tmp/NETFINdebug
```

Windows NT

メモ帳または `bash` を使用して空のファイル `$DBDIR/tmp/NETFINdebug` を作成します。

`$DBDIR` は Tivoli セットアップ・スクリプトが実行されたときに定義されます。セットアップ・スクリプトは `\WINNT\SYSTEM32\drivers\etc\Tivoli\setup_env.sh` です。

NT シェルからの前提：

```
\WINNT\System32\drivers\etc\Tivoli\setup_env.cmd
```

```
bash
```

```
touch $DBDIR/tmp/NETFINdebug
```

一般的な質問に対する答え

以下のリストには、一般的な質問と答えが含まれています。

Plus デスクトップ上にアイコンがない

Netfinity Manager Plus モジュールのインストールに矛盾または不正があります。以下の状態になっているかどうか確認してください。

- Plus モジュールが TMR サーバー上にインストールされている。
- 管理者が完全特権 Tivoli ログインを持たない（たとえば、`root@domain` の代わりに `root`）。
- Tivoli のメモリー不足（実行のための最小メモリーしか備えていないホスト上で最も多く生じる）。
- `$DBDIR` が失敗。この状態が存在する場合は他の症状も生じる。

ジョブまたはタスクからの出力がない

ジョブまたはタスクが、**実行ターゲット**および**出力宛先**の両方を指定されているかどうかチェックします。

ジョブの場合、**タスク・アイコン**を右クリックし、**ジョブの変更**を選択します。ジョブの**編集**ウィンドウを調べてください。タスクの場合、**タスク・アイコン**を右クリックし、選択されたホスト上で**実行**を選択します。タスクの**実行**ウィンドウを調べてください。

8

用語集

本章では、本書で使用されている特殊用語について定義します。

Netfinity マネージャー・マネージャー

Netfinity マネージャー・クライアントを管理し制御するサービスを実行する Windows NT または UNIX サーバー・マシン。

Netfinity マネージャー・クライアント

Netfinity マネージャー・クライアントを管理および制御するサービスを実行する Win3.1、OS/2、または Win95 サーバー・マシン。

クラス

イベント・クラス を参照。

分散モニター

システムとアプリケーション資源のアクティブ・モニターを提供する Tivoli プロダクト。

イベント

装置、システム、またはアプリケーションの状態に関する情報を伝えるメッセージ。

イベント・クラス

Tivoli TEC においては、イベントを定義するために使用されます。イベント・クラスはイベントの各タイプについて定義されます。イベント・クラスは階層的で、クラスを高位のスーパークラスのメンバーとして定義することができます。

イベント・コンソール

Tivoli においては、イベントの表示と管理のために提供されるユーザー・インターフェース。ユーザーはイベント・グループとイベント・ソースに分けて表示するためにイベントを選択します。

イベント・フィルター

イベント内の1つまたは複数のスロットの内容に基づいてイベントを通過させる、TEC サーバー上のフィルター。イベント・フィルターは、イベント・グループを定義するために使用されます。

イベント・グループ

Tivoli TEC サーバー上に定義された責任の構成済み論理エリア。イベント・グループは、1つまたは複数のイベント・フィルターで構成されます。イベント・グループは、イベント・セットを TEC イベント・コンソールに割り当てるときに使用されます。イベント・グループは、管理される資源の状態やタイプ（ネットワーク、データベース、サーバーなど）などの責任に関する論理エリアに基づいて構築されます。イベント・ソースと比較してください。

イベント・サーバー

Tivoli においては、Tivoli Managed Region (TMR) 内の全イベントに関する中央リポジトリ。TMR 内には1つだけイベント・サーバーが存在可能です。

イベント・ソース

Tivoli においては、1 つまたは複数のイベント・フィルターによって定義される Tivoli TEC サーバー上の構成済み論理エリア。イベント・ソースは、イベント・セットを TEC イベント・コンソールに割り当てるときに使用されます。イベント・ソースは、一般的にイベントのソースに基づいて構築されます。イベント・グループと比較してください。

ジョブ

マシン・セット上での管理処理を実行する手段。ジョブは **加入者** 上で実行され、1 つまたは複数のプロファイルやホストが可能です。

管理ノード

Tivoli TME 10 Framework がインストールされているシステム。

モニター

Tivoli **Distributed Monitoring** では、リソースの状態を定期的にチェックするプログラム。たとえば、特定デーモンが稼働しているか、あるいは CPU がどれだけ消費されているかがチェックされます。

モニター・コレクション

Tivoli **Distributed Monitoring** では、モニター・セットを表すデスクトップ上のアイコン。モニターは配布され、そのプロパティはモニター・コレクションを介して編集されます。

パッケージ

Netfinity マネージャーでは、クライアント上で稼働するプログラム。アクション・パッケージは、デスクトップ設定値の再構成および繰り返し操作（たとえば、ウィルス・スキャン）の実行のために使用されます。構成パッケージは、複数プリンターの構成など、

クライアントのための構成タスクを実行するために使用されます。Software Installation パッケージは、クライアント PC 上でのオペレーティング・システムのインストールと構成を行うために使用されます。

プロファイル・マネージャー

Plus モジュールでは、タスクのサブスクリプション・リストにおいて使用可能な加入者の集合。

ルール

TEC サーバーでは、ルール中で指定された基準に合致する 1 つまたは複数のイベントが受信されたときは、ルールが処置の実施方法を決定します。

ソフトウェア配布

さまざまな分散システム内でソフトウェアの構成、配布、およびインストールを行う機能を提供する Tivoli プロダクト。

タスク

(1) Tivoli では、TME デスクトップまたは Plus デスクトップから開始された操作。タスクはアイコンによって表現されます。(2) デスクトップ上の任意のアイコンのアイコン・メニュー内の選択されたホスト上で Run を使って実行される操作。

Tivoli Enterprise Console (TEC)

イベントの集中処理機能を提供する Tivoli プロダクト。

Tivoli Managed Region (TMR)

同一の Tivoli サーバー (TMR サーバーまたは oserv) を共用する Tivoli TME 10 を稼働するシステム・セット。